

**問** 被爆地の広島市、長崎市では、あの被爆の中で生き残った被爆アオギリ2世、

被爆クスノキ2世の苗木の譲渡をしている。市の平和事業として、こ



▲8月1日に行われた「平和の像に千羽鶴を捧げるセレモニー」

**答** 事業としては、駅前の平和の像付近への記念植樹や、平和教育の一環として、学校等へ植樹することが考えられますので、広島市と長崎市と調整、検討したいと思います。

**問** 小・中学生の入学費用の負担軽減について、保護者からは学校が指定する用品は一般製品と比べかなり割高との声がある。小学校入学時の保護者負担はどのくらいか。また、近隣と比べてどうか。

**答** 小学校入学時の保護者負担は、約1万円から2万円、中学校入学時の場合は約7万円程度で、近隣の市町とほぼ同等です。学校の指定用品が割高とされています。

**問** 平和の像に千羽鶴を捧げる真による戦跡の記録保存事業、戦跡マップの取り組みをしたいと思っています。

**答** 本年度実施した史跡めぐりと併せて、戦跡をぐりも実施できればと考えています。

一般質問は、市長などに市政全般について疑問な点や方針等をたたずみます。12月定例会では、12月15日に一般質問が行われ、通告順に4名の議員が質問に立ちました。主な質問と答弁を要約し掲載しました。

## 平和都市

- ・田村 明美議員
- ・武田 光由議員
- ・大木傳一郎議員
- ・苅谷 進一議員

# 市政に問うる

12月定例会

教 育

地 域 医 療

**問** 学校給食センターを統合することで、アレルギーを持つ児童・生徒への対応がどうなるか心配が広がっています。その対応はできるか。

**答** 食物アレルギーを持つ児童・生徒への対応はできるかとのお尋ねですが、統合学校給食センターを建設する上で、アレルギー対策ができる施設設備の整備を計画の中で考えています。

また、学校給食センター

は、信頼できる業者の扱いによるもので安全性や耐久性等がそれなりに保証されています。しかし、学校指定の用品は、仮に用品を指定せずに自由にした場合、やはりのや高価なもの購入することで経済的負担が増えとともに、生徒指導上さまざまな問題の発生が危惧されます。

**答** 千葉県地域医療再生計画では、香取海匝医療圏再生の方策として、拠点病院の機能強化のための地域医療支援センターの整備、千葉大学と拠点病院が連携した千葉県医師キャリアアップ就業支援センターの設置、地域連鎖など、出席席数や授業時間数等学校運営に支障がない。

**問** 学校給食センター統合による小・中学校の学級閉鎖などで、出席席数や授業時間数等学校運営に支障がない。

このうち地域医療支援センターや、旭中央病院に設置する計画があります。

の声があることですが、現在は激安商品が市場に出回っています。これらの商品と比較した場合、学校指定の用品の方が割高とされる印象は免れないと思われます。

建設検討委員会から提出された報告書の中にも、アレルギー対策について書かれていますので、対応している。

この段落は、地域医療再生計画の研究や医師の研修などを通じて地域の医療サービスの質的均衡を目指しています。

**問** 国家公務員の給与や退職金、各種手当のあり方や、天下りの廃止などの課題が議論の中で改善されれば、その流れは、地方公務員にも加速されてくることは十分考えられる。こうした公務員制度改革の変化が想定される中、本市の基本姿勢は。

**答** 本市では、行政改革大綱に基づいた定員適正化計画により、平成18年度から5年間で51人の職員削減を目標でいます。

**問** 平成19年度から団塊世代の職員が大量に退職し、職員の削減は容易な状況ですが、行政サービスの低下を招かないよう、定員適正化計画に基づき、おむね退職者の半数を採用しながら削減対策に取り組んでいます。

また、人事配置については、平成19年度に人材育成計画を策定し、職員の能力開発に努め、適材適所に配置しています。